

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)尼崎市潮江5丁目計画 新築	階数	地上15F
建設地	尼崎市潮江五丁目1番2、金楽寺町	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	1,752 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2025年12月17日
敷地面積	16,049 m <sup>2</sup>	作成者	石崎桃花
建築面積	3,309 m <sup>2</sup>	確認日	2026年1月8日
延床面積	35,745 m <sup>2</sup>	確認者	里中俊裕



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 57%  
③上記+②以外の 57%  
④上記+ 57%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 断熱性を高め、空気環境に配慮する等、室内環境の向上を図っている。 また自主管理公園や敷地内歩道を設けることで居住者及び近隣住民の地域性・アメニティにも配慮した。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 内装には全面的にF☆☆☆☆の建築材料を使用し、さらにホルムアルデヒド以外のVOCも発散量の少ない建材を使用する等、室内の空気環境に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 建物全体の階高や住居内の天井高さにゆとりをもたせ、更新性・機能性に配慮した設計とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地境界部に植栽や敷地内歩道を設けることで、地域活動やアメニティに配慮するとともに良好な景観を形成している。
<b>LR1 エネルギー</b> Low-Eガラスの採用や適切な断熱材により断熱性を高め、建物外皮の熱負荷抑制を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 有害物質を含まない建材種別を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO2排出率を抑えるようにし、地球温暖化に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される